

平成 21 年度 **事業計画**

学校法人 **関東学院**

目 次

はじめに

第 1 章 学院全体計画	1～4
. 創立 125 周年記念事業	1・2
. 理事会中心で推進する事業	3・4
. 校長会議中心で推進する事業	4
第 2 章 各校計画概要	5～11
. 大学・大学院	5～8
. 中学校高等学校	8
. 六浦中学校・高等学校	9
. 小学校	9・10
. 六浦小学校	10
. 六浦幼稚園	11
. 野庭幼稚園	11・12
第 3 章 学院宗教センター	12
第 4 章 創立 125 周年記念事業本部	12・13
. 創立 125 周年記念事業事務局	12
. 創立 125 周年記念事業募金局	13
第 5 章 法人事務局	13～16
. 学院史資料室	13
. 企画調査部	13
. 総務部	14
. 財務部	15
. 施設部	15・16
第 6 章 内部監査室	17
第 7 章 各校（各学部）およびその他部署の計画（略）	
創立 125 周年記念事業	

はじめに

2009 年は、本学院にとって創立 125 周年であり、同じく横浜開港 150 周年、日本プロテスタント宣教 150 周年にあたる誠に記念すべき年です。この特別な年を迎え、本年度を本学院の 125 年間の歩みを振り返り足元をしっかりと見据え、本学院のブランド力・教育力を総合的に高めるための基盤を一層強固とすべき年度とします。

金融危機の深刻化を主因に景気が悪化する状況の中、本年度は創立 125 周年記念事業を完遂すると共に、喫緊の課題を解決すべく多くのプロジェクトを立ち上げ、速やかに解決策を策定し実行します。

第 1 章 学院全体計画

1. 創立 125 周年記念事業

1. 『関東学院グランドデザイン ～創立 150 周年に向けて～』の策定

・ミッションステートメント策定

校訓「人になれ 奉仕せよ」をより具体化した「ミッションステートメント」の策定作業。

・ステークホルダー意見収集・分析作業プロジェクト

社会における関東学院の存在価値をより明確にするための作業。

これらの作業結果を踏まえて、学院の進むべき道を検討するために、内容を共通認識化し、「グランドデザイン」の検討・策定を行います。

2. OliveNet の再構築

本年度は、再構築の 2 期目として、金沢八景を始めとする各キャンパスの建物内支線ネットワーク配線の更改と無線 LAN 環境の整備を行うと共にセキュリティ機能の向上を図ります。

3. 募金事業の推進

創立 125 周年記念事業の一環として学院に連なる卒業生、在校生保護者、企業、法人、教職員、賛同者各位に対して、教育環境の整備のための「オリーブグリーン募金」、「大学奨学基金」、「スポーツ・文化振興資金」、「社会貢献・国際交流事業資金」など寄付使途を明確に示した各種の募金事業を推進いたします。

なお、2009 年 2 月末現在の募金累計額は、341,417,527 円となっておりますが、2011 年 3 月末の募金期間終了までに募金目標額 10 億円を目指して募金活動を行います。

4. 記念特別事業

「Serve the World 21」を基本テーマに以下の事業を行います。

- ・ 関東学院フェア 2009年5月31日(日)～6月2日(火)
新都市ホール 横浜新都市ビル(そごう)9F
学院の歴史紹介、各校紹介、記念シンポジウム、卒業生交流などを企画
担当: 創立125周年記念事業推進室
- ・ 創立125周年記念週間
 - 創立記念祈禱会 2009年10月6日(火) 関東学院大学 礼拝堂
担当: 法人事務局 総務課
 - 祝祭コンサート 2009年10月7日(水) 横浜みなとみらいホール 大ホール
担当: 創立125周年記念事業推進室
 - 創立記念式典 2009年10月10日(土) パシフィコ横浜 会議センター メインホール
担当: 法人事務局 総務課
 - 外国人墓地記念会 2009年10月12日(月) 横浜外国人墓地
ベンネット、テンネー両先生の子孫、及び米国バプテストからゲストを招き、礼拝、記念会を行う。
担当: 法人事務局 総務課
- ・ 学院クリスマスコンサート 2009年12月18日(金) 横浜みなとみらいホール 大ホール
担当: 法人事務局 総務課
- ・ 出版・制作
 - 『関東学院の源流を探る』 2009年度出版予定 担当: 法人事務局 学院史資料室
 - 『関東学院125年史』 2009年度出版予定 担当: 法人事務局 学院史資料室
 - 『Our Kanto Gakuin ～オリーブちゃんとたどる125年の歩み～』(学院歴史紹介DVD) 2009年度完成
担当: 創立125周年記念事業推進室 / 法人事務局 学院史資料室
 - 『KG人録記(仮称)』 2009年度以降発行予定 担当: 法人事務局 広報課
 - 記念グッズ制作 担当: 創立125周年記念事業推進室 / 法人事務局 広報課

記念特別事業は、3月21日時点での計画であり、実施にあたり再考し、開催日及び事業内容等を変更する場合があります。

1. 理事会中心で推進する事業

1. 経営基盤の強化

- (1) 「組織力向上プロジェクト」を設置し、「理事会のガバナンス向上」を図ります。

健全な経営体制の構築と運営を図るため、理事会をより戦略会議化すると共に、PDCA を定着させます。

経営協議会や独立監査人の助言の活用を図ります。

プロジェクトは、常務理事を中心に構成します。

2009 年度中に、具体的成果をあげます。

- (2) 「財政健全性向上プロジェクト」を設置し、「財政基盤強化策」の策定と実施を図ります。

- (3) 「業務処理体系改革プロジェクト」を設置し、「業務処理体系の抜本的改革」を実施します。

単純化・迅速化を目的として、職責権限・責任を明確化し、学生・生徒等の満足度を向上させ、併せて経費節減を図ります。

- (4) 「パブリシティ戦略プロジェクト」を設置し、「パブリシティの一元化と強化」を行います。

法人主導パブリシティ戦略を確立し、広報計画・予算の一元化を図り、費用対効果の高い執行に努めます。

2. FD・SD の充実

「人材育成プロジェクト」を設置し、FD・SD 活動のさらなる充実を目指し、教職員の能力再開発を支援します。

3. セキュリティ対策を含む施設設備の充実

- (1) 「建物耐震性能問題など安全性・快適性向上策」を策定し、実施します。

「金沢八景キャンパス施設向上検討プロジェクト」を設置します。

- ・ E F 館、工学館（耐震性問題）
- ・ 経済学部教室の不足問題
- ・ 滞在型キャンパス化
- ・ 施設の共用化の推進

「室の木キャンパス再開発検討プロジェクト」を設置します。

- ・ 六浦幼稚園、ルツ館、体育館、チャペル、宣教師館、八景駅からのアクセス・駐車場

「第 2 期 三春台校地再開発 検討プロジェクト」を設置します。

- ・ 旧中学本館、小学校校舎、体育館、野庭幼稚園

- (2) 安全で安心な教育環境を確保するため、防犯システムを検討します。

4. その他

- (1) 学院内幼稚園のあり方を検討します。

六浦幼稚園について、「認定こども園」を前提に新施設計画を進めます。

- (2) 「情報活用センター」（仮称）を設置し、学院全体を対象に ICT を管理推進すると共に、各校（各学部）の所有するコンテンツの統合化等を進めるセンターとして、法人事務局の下に置きます。併せて、各校のニーズに合わせた組織の必要性とセンターとの連携強化を検討します。

- (3) 金沢八景駅東口開発に伴う駅周辺まちづくりへの協力及び六浦・室の木校地へのアクセス改善
- (4) 地元町内会との連携強化
- (5) 同窓会との連携強化（同窓会事務室の整備など）

. 校長会議中心で推進する事業

1. 校長会議を活性化し、一貫教育の充実を図ります。
2. 各学校（各学部）の「セールスポイント」を明確にし、「卒業生の質向上」を図るために具体策を策定し、実行します。
3. 学生・生徒・児童・園児への自校史周知の取り組みと共に、学生・生徒等に対する奉仕教育の充実を図ります。
4. 学生・生徒・児童・園児への包括的支援の充実を図るために、各校既存のカウンセリング、教育相談、学生支援等の機能を統合・拡充した「学院総合教育相談センター」の開設に向けて準備室を設置します。

第2章 各校計画概要

・大 学・大学院

1. 教育研究活動の基本方針

- (1) 本学は、キリスト教に基づく校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、21世紀の知識基盤社会に求められる倫理感の高い、社会に貢献できる人材の育成に務めることを、基本方針とします。
- (2) 総合大学としての利点を活かし、中長期を視野にいたした教育研究活動を推進します。教育にあっては、学生の学力・能力・要望を的確に把握することに努め、「学生の満足度の高い大学」を目指して積極的な取り組みを行います。また、研究にあっては学際的・総合的研究を推進します。

2. 教育計画

(1) 教育改革の推進

中央教育審議会の答申「学士課程教育の構築に向けて」に沿って、さまざまな教育改革を進めます。即ち、全学共通の教育方針の策定・実施等を図る教学組織、および教育プログラム開発等を担当する機関について、その任務、組織形態、他の教学組織との関係、規程整備等について引き続き検討し、平成21年度設置を目指します。

学生の学修を活性化させるような授業内容・教育指導方法等の改善、学習成果に関わる評価の客観性と厳格性の確保、FD活動に関わる情報の全学的共有等について継続して取り組みます。また、学生による授業評価アンケートの妥当性、集計結果の公表、授業改善への実際の反映などについて継続して取り組みます。

単位の実質化の方策、他大学との単位互換、GPA制度の導入、主要科目の再試験実施の必要性、共通科目のあり方（例えば全学共通科目の設定など）等について、検討を行い具体化に取り組みます。

(2) 総合大学の利点を活かす教育の充実

総合大学の優位性を発揮し、平成22～23年度実施を目途に学部間相互の関連に配慮した主専攻・副専攻制、インスティテュート制によるカリキュラムを検討します。

(3) その他の教育計画

情報通信技術の発展に対応したICT教育の充実に努めます。また、ソフトウェアの適正管理に取り組むと共に、大学スタンダードPCを導入し、教員のICT環境の充実に努めます。高大連携の強化・充実に努めると共に、学院内各高等学校と一貫教育のあり方を考えます。平成20年度に大学間交流協定を締結した上海応用技術学院（中国）、北京第二外国語学院（中国）、チェンマイ大学（タイ）と交換留学プログラムの検討を進めると共に、私費外国人留学生の中長期的受け入れ計画の明確化を図り、受け入れ体制をさらに整備します。シニア層など社会人受け入れのための教育プログラムを充実します。

人間環境学部において学生に魅力ある大学院を設置するため、平成23年度開設を目指して学部内の意見を集約し検討を重ねていきます。

3. 研究計画

(1) 研究プロジェクトの推進他

採択された「ハイテクリサーチセンター事業」・「社会連携研究推進事業」の各研究プロジェクトを継続的に実施し成果をあげます。

(2) 研究支援の充実

平成 21 年度から総合研究推進機構を設置して、未来社会が必要とする総合的な研究の推進と研究成果の迅速な社会還元を図ります。主な事業は、総合的、学際的な共同研究・プロジェクト研究の育成と推進、大学付置研究所の統轄と支援、産官学連携の積極的な推進等です。

他方、学術性と市販性を兼ね備えた出版企画の開拓、授業用テキストの開発、教養書・専門書の刊行などを行い、出版事業の継続・拡大を図ります。

4. 学生募集計画

大学・学部・研究科の求める学生像と本学の教育目標・教育プログラムに合致したアドミッションポリシーを明確にし、入試制度、入試広報に反映させて志願者を増加させます。

(1) 入試改革の推進

現行の入学選抜方法を検証し継続して入試制度改革を実施し、志願者増と充足率の向上を目指します。

(2) 入試広報の高度化

戦略の基本を「接触型広報」に置き、高校生、保護者、高校教員と直接対話する機会を重視した広報を展開します。

5. 学生支援計画

(1) キャリア形成支援の充実

キャリア形成（就職基礎能力、明確な職業意識、職業観）を支援するために、低学年から多様なプログラムを提供してキャリア教育を充実させます。

学生が卒業後の進路について適切な職業選択の判断ができるようさまざまなプログラムを実施して支援します。

(2) 奨学金制度の充実

成績優秀者に対するスカラシップ制度・チャレンジスカラシップ制度の継続と共に、125 周年記念事業の一環として経済的困難者等に対する「大学奨学基金」を創設します。

(3) 学生生活環境支援の充実

学生が満足して学生生活を送れるよう生活面でのきめ細かな支援を継続すると共に、大学生としての自覚、社会人として持つべき常識、法令遵守などへの理解や意識を高める取組みを推進します。

文部科学省の「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援 G P)」の選定を受けた学生支援事業を推進すると共に、カウンセリングセンターの体制整備を図り、またハラスメント防止対策を推進します。

アメニティの改善に努力し、学生の居場所を確保して「滞在型キャンパス」の形成を推進します。

6. 社会貢献計画

- (1) 昨年、金沢区および横浜市立大学の3者による街づくりに関する連携協定を結びました。
これを機に協議会を設置し、「横浜開港150周年記念事業」の企画立案への参画、区内の経済や文化・歴史の調査研究支援などを通じて、地域密着型大学として地域の活性化に取り組みます。
- (2) 生涯学習に関わる事業について、講座数の増加を図り、より一層の充実に努めます。
また、全キャンパス4つの図書館の開館日時など利便性をさらに向上させて一般開放(地域開放)を行い、地域との交流を推進します。
- (3) 教員免許状更新講習を夏期休業期間を中心に実施します。

7. 施設整備計画

- (1) 情報関連設備の整備
OliveNet再構築事業(第二期)を開始します。具体的には金沢八景キャンパス内の屋内LAN配線工事、金沢文庫・小田原キャンパスと関内メディアセンターの各建物間基幹LAN・屋内LAN配線工事・LAN機器の更改、全キャンパスにおける無線LAN設備および認証・検疫システムの導入を行います。
- (2) 施設設備の充実
アメニティの改善のための施設整備、校内の環境美化を進めます。また、留学生宿舎等の確保について、継続して検討していきます。

8. 関東学院創立125周年記念事業

関東学院創立125周年記念事業大学委員会の活動を通じて、記念事業を計画的に実施します。具体的には、20年度芥川賞受賞者楊逸(ヤン・イー)氏の公開講座等、学生の企画による「社会貢献学生アクティビティ」、「第10回ふれあい祭2009」、「第7回「ビジネス・プラン・コンペティション2009」」、「第6回全国高校生フォーラム「高校生の詩(うた)～伝えたいこの想い～」コンテスト」、「第5回エッセイコンテスト「心に残る最高の先生」」等を開催します。

9. その他の計画

- (1) 教育組織の充実
大学委員会のもとに設置された教学組織検討専門委員会において、学部の改組等について引き続き検討していきます。
- (2) 広報活動の展開
創立125周年を迎え、広報室、入試課、法人事務局企画調査課が連携し、継続して効率的な広報を展開します。
- (3) 財政計画の策定
公的補助金や寄付金等、外部資金の獲得について、増加につながる施策を講じます。
予算編成において、教育研究資金の配分等を見直すと共に、経費の削減をさらに図ります。

(4) 自己点検・評価

平成 21 年度は「自己点検・評価報告書」、「教員総覧」を作成します。

(5) 環境 ISO 取得（エコキャンパス）

環境保全委員会において、全学の環境対策および環境教育を推進すると共に、人間環境学部での ISO14001 活動をさらに活性化させます。

(6) 事務体制の充実

事務職員の資質向上を目指し、SD の強化を図ります。

総合研究推進機構設置に伴う事務組織を設置し、研究をさらに支援します。

新学籍・教務システムの導入を含め、事務システムの統合のための検討を行います。

1. 中学校高等学校

1. 教育の基本方針

キリスト教を教育の基盤とした校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、高い学力と豊かな人間性をもった生徒の育成と生徒各人の進路を開く教育活動を行います。

2. 教育計画

生徒の宗教心を涵養し、基礎学力の定着と大学進学に向けた学習指導を行います。

(1) 聖書に軸足を置いた宿泊行事を充実させ、奉仕活動への積極的な参加につなげます。

(2) 週 6 日制のカリキュラムの特長を生かし、教科学習・部活動・学校行事を PDCA サイクルで取り組み、有機的な関連を高めます。

3. 生徒募集計画

(1) 塾や広告関係者との情報交換を密に行います。

(2) 授業の充実と進学実績の向上に努めます。

4. その他の計画

(1) 創立 125 周年記念事業について

『創立 150 周年へむけた長期計画』への提案・検討参画

・施設・設備の充実を図ると共に、定員削減（35 人学級）や専任教員の増員に向けて効率的なカリキュラム策定と経営策を検討します。

・教科間交流・施設の共同利用など、同一キャンパス内にある小学校との連携策を推進します。

各種記念事業の完遂

・姉妹校である台湾の長栄高級中学とのスポーツ交流をします。

・マーチングバンド部、ハンドベル部、オーケストラ部合同音楽会を開催します。

(2) キャンパス計画について

・旧中学校本館改修・保存、小学校と共有する体育館の新築やグラウンド拡充、並びにバリアフリーと自然環境の整備を推進します。

.六浦中学校・高等学校

1.教育の基本方針

2007年度より実施している本校の教育基本方針の実践に向けて取り組んでいきます。

2.教育計画

- (1) 併設型中高であることを明確にし、そのメリットを生かすために無理のない範囲において中学の一部で高校単位の先取りを行います。
- (2) 学習理解の深まりを目的とする週6日制を実施します。

3.生徒募集計画

本校主催で行う学校説明会のあり方に検討を加えながら、教育内容の発信に努めます。

4.その他の計画

- ・キリスト教学校として、ノンクリスチャンの新任教諭対象の研修を年10回、宗教主任が実施します。
- ・生徒と保護者対象に緊急連絡や不審者情報などに関するメール配信を実施します。

.小学校

1.教育の基本方針

キリスト教に基づいた教育を行うと共に、学力の充実を教育の基本方針として、「人になれ奉仕せよ」の校訓を実践できる児童の育成に努めます。

2.教育計画

- (1) 一人ひとりの児童が満足できる学校生活をおくることができるように、次の2点を行います。
補習を効果的に行い、学力向上の実績をさらに定着させます。
豊かな心を養うためキリスト教教育の充実、校訓の実践を図ります。
- (2) 質の高い授業を児童に提供できるよう、授業についての研究を計画的に実施します。

3.児童募集計画

学校説明会、一般公開の学校行事を重視すると共に、中学進学指導の取り組みとその成果を広報し、志願者の増加につなげます。

4. その他の計画

(1) 創立 125 周年記念事業について

『創立 150 周年へむけた長期計画』への提案・検討参画

- ・ 管理部門に関わる校舎棟は 43 年を経ており老朽化しており、新校舎建築の検討を行い、教育内容の充実とあわせ、教育環境においても整えていきます。
- ・ 造形・音楽・体育の教科で中学高等学校と教師間の交流を中心に、より高度な授業を行うためにさらに中学高等学校との連携を深めます。

各種記念事業の完遂

- ・ ルワンダ支援の 1 つとして「ルワンダ展」を開催いたします。ルワンダ支援の取り組みやルワンダで奉仕されている方々との交流の様子を来場者に理解していただけるよう実施します。

(2) キャンパス計画について

- ・ 管理棟校舎の改築は、三春台校地の整備計画とあわせて話し合い、計画を進めます。

六浦小学校

1. 教育の基本方針

キリスト教に基づく教育を実践し、確かな基礎学力を持ち、自己の責任と義務とに忠実で、隣人への思いやりや奉仕する心を持つ児童を育成します。

2. 教育計画

- ・ 始業前礼拝、聖書の時間、クリスマス、イースター、収穫感謝礼拝等を通してキリスト教に対する理解を深めます。
- ・ タイ、ティワタ村の寮の子供達との交流を継続し、国際交流並びにボランティア活動などの社会奉仕活動を発展させると共に第 8 回タイ訪問団の派遣を予定します。
- ・ 自然学校、スキー教室等の体験学習の充実を図ります。

3. 児童募集計画

- ・ 院内両幼稚園との連携を深め、院内一貫教育の充実に努めます。
- ・ 在学生の保護者、卒業生、関係者等を通しての広報活動を活発化し、募集拡大に努めます。

4. その他の計画

- ・ 安全管理体制の充実を図ります。
- ・ 125 周年事業として、タイの子どもたちを招待する事業、並びに寮で必要な車の購入について検討します。
- ・ 行き届いた学習環境を考慮し、36 人学級について継続して検討します。

.六浦幼稚園

1.教育の基本方針

キリスト教に基づく校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、園児一人ひとりが、自主性、思いやりの心、創造性が豊かに育まれることを教育の目標において保育を進めます。

2.教育計画

- ・「奉仕する心」の芽を養うために分かち合い、幼児なりに人の役に立つ喜びが体験できるよう日々の生活において配慮します。
- ・国際性に触れる機会として宣教師による「英語で遊ぼう」を行います。
- ・幼稚園が子どもとともに親も育つ場として、親育ち支援に力を入れます。また、専門家による教育相談やグループワーク、子育て講演会も充実して行います。
- ・本学人間環境学部との連携のもと相互の研究、保育の充実に努め、専門家による園児の課外活動も検討します。

3.園児募集計画

- ・厳しい施設状況をふまえ、将来に向けた新しいシステム「認定こども園」を前提に新施設計画を進めます。
- ・車による通園も多い現状から、駐車スペースの確保とさまざまな通園手段についても検討します。

4.その他の計画

- ・幼稚園創立 60 周年記念事業として、記念礼拝、記念音楽会を企画し実施します。
- ・部分的な給食を検討します。
- ・子育て支援事業を推進し、地域の子育て支援センターの役割を担っていきます。
- ・預かり保育の内容の充実を図ります。

.野庭幼稚園

1.教育の基本方針

キリスト教に基づく校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、遊びを中心にした生活を通して、園児一人ひとりの個性が発揮され、それと同時に、社会性が培われ、他人を思いやることのできる人間となるような保育を目指します。

2.教育計画

- ・礼拝や日々の祈りを通して、感謝して過ごすことを大切にします。
- ・一人ひとりの個性・特性を受け止め、お互いを大切にし合う関係づくりに配慮します。
- ・園児たち一人ひとりの自主性、意欲を尊重し、思いやりの心を大切にして保育を行います。

3. 園児募集計画

- ・学院内小学校への推薦入学の制度を園児募集に生かしていきます。
- ・未就園児のための「こひつじ広場」・「ぶどうの木」を実施して周辺地域に働きかけ、地域の入園希望者の増加を図ります。
- ・横浜市型預かり保育事業を充実させて園児募集につなげます。

第3章 学院宗教センター

1. キリスト教教育について

本学院寄附行為第1章第1条、「本法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、キリスト教に基づき、学校教育を行うことを目的とする。」に基づき、キリスト教教育の実践、涵養を行います。

2. 学院宗教主任会議

前項を達成すべく、学院宗教主任会議において種々検討、実行します。

3. 刊行物の発行

『いんまぬえる』（1973年発刊、年3回発行）、『道しるべ』（1987年発刊、年1回発行）を継続して発行し、建学の精神であるキリスト教教育の涵養につとめます。

第4章 創立125周年記念事業本部

. 創立125周年記念事業事務局

1. 記念事業推進室

(1) 役割

募金事業を除く、記念事業全般を統括し、記念事業を成功させます。

担当部署は企画調査部企画調査課とします。

(2) 事業項目

第1章 学院全体計画 . 創立125周年記念事業の通りとします。

. 創立 125 周年記念事業募金局

(1) 役割

創立 125 周年を 2009 年に迎えるにあたって、教育環境整備、奨学金の充実、教育振興、社会貢献・国際交流等をテーマとして、募金募集活動に取り組みます。

(2) 事業項目

学院創立 125 周年記念に伴う募金事業

募金ニュース制作

各校同窓会、地方支部の役員、同窓会各種団体との関係強化及び活動支援

未組織団体（課外活動 OB 会、学生寮 OB 会、企業内団体）の組織化支援

各校の募金活動支援

第 5 章 法人事務局

. 学院史資料室

(1) 役割

学院関係の資料及び本学院関係者に関する資料を収集・整理し、史料の刊行、展示等を行い、学院の教育に尽くされた学院関係者の事績を顕彰する諸作業をとおして、建学の精神が実践されてきた学院の歴史を伝承していきます。

(2) 事業項目

『関東学院 125 年史』の出版準備

『関東学院の源流を探る』の出版

学院史料の収集と保存、活用

学院史史料展の開催

広報誌『ニュース・レター』の発行

学院発祥の地の記念碑の建立

. 企画調査部

1. 企画調査課

(1) 役割

理事会の経営・管理機能を補佐する機関として、学院経営・管理に関する企画立案にあたります。

また、計画立案に必要な調査活動を行います。

併せて、本年度は「記念事業推進室」業務を兼務します。

(2) 事業項目

理事会中心で推進する喫緊の課題を解決すべく立ち上げる多くのプロジェクト等の推進

創立 125 周年記念事業推進室として、創立 125 周年記念事業の統括

・総務部

1. 総務課

(1) 役割

法人役員の秘書業務、理事会等の諸会議の運営、式典行事の遂行、文書管理等の総務業務について管理運営を行うと共に、学校法人及び学院内各校が円滑に事業を遂行できるよう調整を図ります。

(2) 事業項目

経営協議会

10月、3月に経営協議会を開催し、学院の運営に対して高名な経営者の助言を求めます。

創立記念式典（10月10日）

125周年を迎える2009年の創立記念式典はパシフィコ横浜会議センターメインホールで実施します。称号贈呈、永年勤続表彰に加え、125周年独自の内容を検討します。

学院クリスマスコンサート（12月18日）

第25回学院クリスマスコンサートをみなとみらいホールで開催いたします。

125周年記念事業としての性格も含め、学院内外へ積極的に働きかけます。

2. 人事課

(1) 役割

採用から退職までの間の人事に関わる業務、給与および税務に関わる業務、私学共済事業に関わる業務などを通じて、学院各校の教職員が関東学院へ貢献できるよう人事業務全般を管理運営いたします。

(2) 事業項目

研修制度を見直し、効果的な職員研修体系を構築します。

関東学院安全衛生管理規程の制定施行に沿って、各校地の安全衛生管理体制を確立します。

3. 広報課

(1) 役割

学院の効果的な広報活動と校友事業の充実を図ります。

(2) 事業項目

広報関係では、「建学の精神」に基づく特色をアピールする編集方針により広報刊行物を発行するほか、ホームページを活用し、情報公開・提供を進めます。

校友関係では、同窓生への学院情報の提供、同窓会に係る諸会議等への支援体制を整えます。

さらに、報道関係（各種メディア）への情報提供についても適正に発信して学院広報の充実を図ります。

「KG人録記」出版のための情報収集と出版

.財務部

1.経理課

(1)役割

収入の多様化による増収を図ると共に、一層の経費の削減を推し進め、教育研究環境の整備・充実のための財務基盤の強化に努めます。

また、学院各校のキャンパス計画、中長期計画策定のための財務データを提供し、事業計画の遂行を支援します。

(2)事業項目

経常部予算執行マニュアルの改訂

2.出納課

(1)役割

学院各校の授業料等の収納を円滑に行い、教職員及び関係業者への支払いを適正かつ確実に行います。また、学院の金融資産の運用について、定期的に時価を把握し、変動をチェックすると共に、金融資産全体のポートフォリオを勘案し、リスク管理を行います。

(2)事業項目

100年に一度といわれる金融危機の中、元本の安全確保とリスクの分散を重視した資産運用を実施します。

学院各校の学費収納システムの改良を検討します。

3.管財課

(1)役割

学院各校の固定資産の減価償却や固定資産税、火災保険に関する業務を適宜、適正な処理を行うよう努めます。

(2)事業項目

固定資産管理システムの充実と有効活用に努めます。

.施設部

1.施設課

(1)役割

学院各校の環境施設整備の充実を支援します。

(2)事業項目

耐震・防災対策を推進します。

学院各校の施設改善計画立案を支援し検討を実施します。

「福祉のまちづくり条例」に沿ったバリアフリーの充実を推進します。

- a. 既存トイレを改修します。(多目的トイレ等)
- b. 建物及び教室へのアプローチを改修します。(スロープ等)
- c. エレベータの整備・改修を推進します。

2. 管理課

(1) 役割

学生・生徒・児童等が、安全かつ安心できる教育環境の整備・管理の充実を推進します。

(2) 事業項目

環境整備

a. 施設

- ・ 建築物の機能を維持し、耐久性の確保に努めます。
- ・ 効果的な保守管理を実施し、設備の延命および円滑な稼働を図ります。

b. 運用

- ・ 省エネ設備の更新を図り、エネルギー消費の削減に努めます。
- ・ 学校保健法に基づく環境衛生検査、事後措置および日常における環境衛生管理等を適切に行い、学校環境衛生の維持・改善を図ります。
- ・ 体育施設・遊具等の安全点検を実施し、事故の抑制を図ります。

環境保全

a. エネルギー

- ・ 効果的なエネルギーの使用を推奨し、温室効果ガスの抑制に努めます。

b. 廃棄物

- ・ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、廃棄物発生量の削減を図ります。

防災安全対策

防災および防犯等、起こりうる危機事象の発生に際して、関連するマニュアル等を一層整備し、学生・生徒・児童等の安全管理体制を充実させます。

3. 小田原キャンパス管理課

(1) 役割

教育・研究環境をインフラ系の側面から支援し、良好な教育環境の保全・管理を行います。

(2) 事業項目

施設

- a. 各施設の機能維持に努め、健全な施設環境の保全に努めます。
- b. 各設備の計画的保守点検を実施し、老朽化に伴う信頼性の維持に努めます。

運用

- a. 教室等の使用状況を把握し、冷暖房・照明設備の効率化を図ります。
- b. 水光熱消費量の削減に努め、CO2 排出量 - 6 %の目標値達成に向け努力します。

第6章 内部監査室

(1) 役割

内部監査業務の適正な処置に務め、監事及び独立監査人との連携による三様監査の充実を図ることにより、本学院の経営に資することとします。

(2) 事業目的

文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」及び「2008年版科研費ハンドブック」に基づき、科学研究費補助金に係る内部監査を研究支援室と連携して実施します。

内部監査業務のため基盤調査として、部・課・系の業務処理状況を把握するための準備作業を行います。

第7章 各校（各学部）およびその他部署の計画（略）

創立125周年記念事業

2009年度 学院創立125周年記念事業計画一覧

事業責任部署等	事業件名	開催日等	開催場所等
1. 募金事業			
創立125周年記念事業募金局	募金ニュースの制作	11月発行予定	
	遺贈寄付パンフレットの制作		
	オリーブ奨学基金への募金パンフレットの制作		
	大学奨学基金への募金パンフレットの制作		
	企業及び元教職員への募金趣意書の郵送		
	寄付者への礼状等の郵送		
	高額寄付者へのクリスマスカード及び情報誌の郵送		
	寄付候補者と理事等の懇談		
	卒業生のラグビー応援推進		
	記念事業として記念品の配付		
総務部総務課	創立125周年記念式典	10月10日	パシフィコ横浜 会議センターメインホール
	記念レセプション	10月10日	ロイヤルパークホテル
	称号贈呈用感謝プレート等の作成		
総務部広報課	大学、短期大学の卒業生アンケート回答者等への情報提供事業		
大学	ホームカミングデー		
	学生等に配布する記念グッズ(携帯電話クリーナー)の作成		
2. 記念誌編纂			
学院史資料室	『関東学院125年史』の制作		
総務部総務課	外国人墓地記念会の実施		横浜山手外国人墓地
	記念碑の設置 (関東学院発祥の地および東京中学院発祥の地)		横浜山手、中央区築地
	上記 記念碑の完成披露式		横浜山手、中央区築地
3. 社会貢献・国際交流			
企画調査部企画調査課	『シーボルト日本植物図譜』の配付		
総務部総務課	「関東学院の奉仕教育 - ルワンダでの和解の働きのために」- 佐々木和之の働きを通して - (仮題) 主催: 関東学院チャプレン会 共催: 関東学院小学校	11月28日	関東学院中学校高等学校 グレースセット礼拝堂
小学校	ハワイ州「カメハメハ ミドル スクール」歓迎交流会	6月4日	関東学院中学校高等学校 グレースセット礼拝堂
六浦小学校	タイ ティワタ村の子供及び引率者の記念式典等への招待 (記念式典への参列のほか、六浦小学校児童との交流、ホームステイ経験、遊園地体験)	10月7日 ~ 10月15日	
	タイ ティワタ村子供寮への車の寄贈	8月中旬	タイ ティワタ村子供寮
	「第8回 タイ訪問団」の派遣	8月中旬	タイ ティワタ村
中学校高等学校	台湾の長栄高級中学(姉妹校)との記念スポーツ交流試合		
六浦中学校・高等学校	カナダ短期研修(創立125周年記念特別企画)	7月28日 ~ 8月10日	カナダ・ブリティッシュコロンビア ビクトリア近郊
	資源再利用推進事業		関東学院六浦中学校・高等学校
大学	社会貢献学生アクティビティー		
	総合研究推進機構創設事業		
	ふれあい祭り		関東学院大学 金沢八景キャンパス
	高校生「詩のコンテスト」～伝えたいこの想い～		
	関東学院大学エッセイコンテスト		
	ビジネスプラン・コンペティション		

事業責任部署等	事業件名	開催日等	開催場所等
4. 教育振興			
企画調査部企画調査課	院内英語コミュニケーションコンテスト(仮称)	10月24日(予定)	
六浦幼稚園	特別記念講演会 (佐々木正美氏 (児童精神科医)による講演)	6月10日	関東学院六浦幼稚園 ホール
野庭幼稚園	幼児・児童向けオペレッタ上演		
小学校	秋の屋外なかよし会 (運動会)	10月4日	関東学院中学校高等学校 グラウンド
六浦中学校・高等学校	創立125周年記念芸術鑑賞	11月10日	ミュージア川崎
	教育研究事業		
	校歌オリジナル版CDの製作		
	創立記念式典における特別記念講演		
大学	学術・講演行事		
大学 文学部	第3回 International Theater Company London公演:『ロミオとジュリエット』 第4回 International Theater Company London公演:現代演劇 (演目未定)	6月5日 ・ 11月	金沢公会堂(予定)
大学 工学部	(名義後援) ETロボコン南関東大会	8月・9月予定	関東学院大学 金沢八景キャンパス
大学 工学部 大沢記念建築設備工学研究所	(名義後援) 関東学院大学 大沢記念建築設備工学研究所 創設40周年記念公開シンポジウム	5月30日	関東学院大学 金沢八景キャンパス
大学 生涯学習センター	(名義後援) 2009年度春学期公開講座「キリスト教とは - 関東学院の建学の精神を学ぶ - 」	6月20日 ~ 7月18日	関東学院大学 金沢八景キャンパス
5. スポーツ・文化振興			
創立125周年記念事業推進室	祝祭コンサート	10月7日	横浜みなとみらいホール 大ホール
	関東学院フェア	5月31日 ~ 6月2日	
学院史資料室	学院史史料展		
総務部	学院クリスマスコンサート	12月18日	横浜みなとみらいホール 大ホール
六浦幼稚園	記念コンサート	11月21日	関東学院大学 室の木礼拝堂(予定)
中学校高等学校	記念音楽会 (マーチングバンド部、ハンドベル部、オーケストラ部による合同音楽会)	1月27日	神奈川県民ホール 大ホール
大学	学生課外活動 活動一般への支援		
	陸上競技部の強化		
	クラシック・ミニコンサート	年2回開催予定	
	伝統芸能・演劇の公演		
6. その他			
創立125周年記念事業推進室	創立125周年記念行事の広報		
企画調査部	ステークホルダー意見収集・分析作業		
	各種プロジェクト業務		
総務部広報課 / 創立125周年記念事業推進室	記念グッズ制作		
総務部広報課	関東学院総合案内冊子の制作	5月末または9月末完成予定	
	協賛広告等 (2009年度 第28回横浜開港祭への協賛)		
	協賛広告等 (横浜開港150周年記念式典オリジナルショーへの協賛)	5月31日	
	協賛広告等 (2009年度 国際アクセスディンギレガッタへの協賛)	6月12日 ~ 6月14日	
	協賛企画 (2009年度 第24回神奈川新聞社花火大会への協賛)	8月(予定)	
	広告掲出 (神奈川新聞「横浜開港新聞(第9.10.11号)」(3回分))		
大学	125周年記念大学事業推進活動 (燦葉会への支援および情報交換会等)		

記念特別事業は、3月21日時点での計画であり、実施にあたり再考し、開催日及び事業内容等を変更する場合があります。
最新情報は、学院のホームページに「学院創立125周年記念イベントカレンダー」として掲載しております。

以上